

# 山田武彦

ピアノ ● Piano

Takehiko Yamada



東京藝術大学作曲科卒業、同大学院作曲専攻修了。1993年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科に入学、同クラスの7種類の卒業公開試験を、審査員の満場一致により首席で一等賞(ブルミエ・プリ)を得て卒業。フランスの演奏団体である2e2m、L'itineraire、Triton2等でソリストとして演奏し、現代音楽の紹介を務める。またフランス北部のランス市において大戦後50周年記念式典のために、ヘブライ語による委嘱作品を発表。帰国後はピアニストとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の際のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。2004年より「イマジネータコンサート」音楽監督、2007年より「下丸子クラシックカフェ」ホスト役を担当するなど、ユニークなコンサートの企画にも参加している。これまで洗足学園音楽大学に於いて作曲及びピアノコース統括責任者を歴任、現在同大学教授。全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本ピアノ教育連盟会員。2017年には1カ月に及ぶロングラン公演の浅草オペラ100周年記念企画「ああ夢の街浅草!」にて音楽監督を務め、全曲の編曲・演奏を行う。

# 平井裕子

ソプラノ ● Soprano

Yuko Hirai

明治大学文学部卒業。2009年東京ミュージック&メディアアーツ尚美コンセルヴァトアールディプロマ科声楽専攻修了。2013年洗足学園音楽大学大学院修士課程修了。大学卒業後IT 商社に入社し、営業職として10年勤務。退職後、2004年より声楽を本格的に学び始める。尚美ディプロマ科入学前の2006年3月に東京国際芸術協会第33回新人演奏会に出演。洗足学園音楽大学大学院在学中の2011年度、2012年度、日仏音楽協会＝関西主催、フランス音楽コンクール声楽部門入選、フランス総領事賞受賞。2009年、2011年、2014年、2017年にリサイタル開催。尚美ディプロマ科在学中よりフランス近代歌曲、フランスオペラ、スペイン歌曲を中心とした演奏活動の他、現代音楽、劇音楽、新作録音などにも積極的に取り組んでいる。2014年度ニース夏期国際音楽アカデミー修了。コレペティートルのAntoine PALLOC氏に師事。2016年度より宮崎義昭声楽熟キャリアアップクラスの塾生となり、更なる研鑽を積んでいる。これまでに、田中正子、中村浩子、福田美樹子、土屋雅子の各氏に師事。コンセル・C、東京国際芸術協会各会員。2018年12月、日仏共同製作の新作歌芝居に出演予定。



©Naoko Nagasawa

# 前田ヒロミツ

テノール ● Tenor

Hiromitsu Maeda

国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。2000年に渡英しロンドン英国王立音楽院演奏ディプロマコースコース修了。在英中はヨーロッパ各地においてオペラ、コンサートに出演。セントオーバンス芸術祭では英語歌唱を評価され、コンサート部門最優秀賞を受賞。オペラではヘンデル作曲「エイシスとガラテア」(エイシス役)、「セメレ」(ジュピター役)、「アルチーナ」(オロンテ役)等、バロック作品に数多く出演。宗教作品のソリストとしては「メサイア」(ヘンデル作曲)、「レクイエム」(モーツァルト作曲)やバッハ作曲オラトリオ、カンタータ、ミサ曲等に出演。I. カミングス氏、P. ホルマン氏等著名な古楽指揮者と共演。2007年に帰国後は、古楽から現代曲、歌謡曲までを取り上げた様々なジャンルの舞台で活躍。コンサートの企画も積極的に行い、年に数回行われるリサイタルではユニークなプログラムが好評を博す。特に英語作品の歌唱には定評があり、2015年には英国歌曲をテーマとしたソロCDアルバム「西から吹く風」をリリース。英国人作曲家による知られざる名曲の演奏をライフワークとしている。

Duo Concert